

## 津田塾大学 社会人入学試験 問題用紙

国際関係学科 多文化・国際協力学科	科目	現代世界に関する 小論文	受験番号		氏名	
----------------------	----	-----------------	------	--	----	--

## \* 問題Ⅰ、問題Ⅱの両設問に解答しなさい。

## 問題Ⅰ

次の文章を読み、設問に答えなさい。

このようなさまざまな特性（女性が収入を得る力、家庭外での経済的役割、識字力と教育、所有権など）は、一見するとたがいに無関係のように思えるかもしれませんが、しかし、すべてに共通するのは、女性の独立とエンパワーメント〔自己決定能力。必要なものを入手し利用できる法的・社会的・経済的パワーを含む能力や資格をそなえること〕を通じて、それらが女性の発言力と主体性を高める貢献をしていることです。したがって、その研究のなかで指摘されたさまざまな特性には、統合されてエンパワーメントにつながる役割があるのです。

この役割は、次のような認識とも関連していなければなりません。つまり、経済的に独立し、社会的に解放されることで得た女性の力は、家庭内の意思決定においても、その力関係と基本原則に大きな影響をおよぼしうる、というものです。これに関しては、かなり多くの例証があります。たとえば、女性のエンパワーメントの確立により、出生率は急激に下がります。これは驚くべきことではありません。たび重なる出産と子育てで最も悲惨な生活を強いられているのは、若い女性たちです。そして彼女たちの決定力を増し、その利害にもっと関心向けさせるものはなんでもあれ、過度にわたる出産を減らす一般的傾向があるからです。たとえば、インド国内の異なった地域で実施された比較研究では、出生率の低下に大きな影響を与えた二つの要因は、女性の教育と雇用でした。

女性の教育と識字力の向上が、子供の死亡率を下げる傾向があることに関しても、多くの証拠があります。子供の生存率は、さまざまな方向から影響を受けますが、最も直接的には、子供の幸せを願う母親の力によるものでしょう。また、母親の主体性が尊重され強化されれば、家庭内の決定にも影響をおよぼす機会がふえ、それによっても状況は変わるに違いありません。同様に、女性のエンパワーメントには、これまでたびたび指摘されてきた、男女の生存率に見られる格差（特に若い女性の生存率の低さ）を縮めるのにも大きく影響しているようです。

女性の基礎教育と女性の主体性がつまみここの結びつきは、〈人間の安全保障〉全般にたいして学校教育が果たす役割を理解するうえで、きわめて重要なものとなります。女性（特に若い女性）の生存率の低さを改善し、子供の死亡率（男女を問わず）を減らし、適度の出生率をたもつようにすることなどはいずれも、生活と尊厳を脅かされ「不利益をこうむるリスク」の排除に関連した根本の問題なのです。

出典：アマルティア・セン『人間の安全保障』集英社新書、2006年、30 - 31頁。

- (1) 女性のエンパワーメントはどのような効果をもたらすのか。筆者の考えをまとめなさい。
- (2) 上記の考えに対して、途上国の貧困や不平等状況を念頭に置きながら、あなたの意見を述べなさい。

## 問題Ⅱ

近年、日本では、集団的自衛権<sup>(注1)</sup>の行使を限定的に容認し、自衛隊による国際平和活動への参加を拡大することなどを定めた安全保障関連法が成立しました。しかし、この法律をめぐっては、国会で審議されているときから法案成立に反対するデモや抗議集会も開かれました。この問題について、以下の設問に答えなさい。

<sup>(注1)</sup> 日本が直接攻撃されなくても、同盟国が攻撃を受けた場合に武力を使って共同で反撃する権利

- (1) なぜ安全保障関連法が議論されるようになったのでしょうか。また、なぜ根強い反対意見が存在してきたのでしょうか。この2点について、簡潔に説明しなさい。
- (2) 国際社会の平和のために、日本はどのような貢献をすることができるのでしょうか。あなたの考えを述べなさい。